



I 第36週の発生動向 (2025/9/1~2025/9/7)

- 1. 水痘については、東津軽+青森市保健所管内の定点あたり報告数が新たに注意報レベルとなりました。
2. 百日咳については、複数の保健所管内で患者が報告されています。手洗い等の基本的な感染対策の徹底をお願いします。
3. 新型コロナウイルス感染症については、報告数の増加が継続していますので、「手洗い・手指消毒」、「咳エチケット」、「室内の換気」等の基本的な感染対策の徹底をお願いします。

※現在、国及び国立健康危機管理研究機構が警報・注意報の基準値について確認を進めているところですが、県の週報に記載する発生動向では、当面の間、従前の基準値を用いて注意喚起を行います。

<感染症の窓>

今週のテーマは「ダニ媒介感染症」です。

最終ページに掲載しています。

II 第36週五類定点把握対象疾患

※記載データは、速報値です。

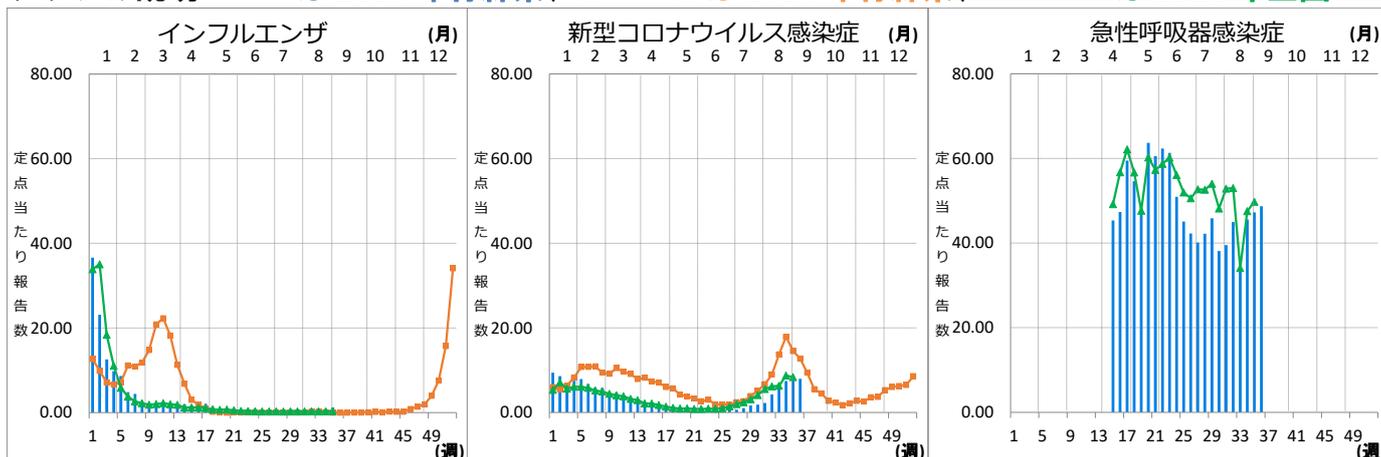
青森県内の保健所管内、定点(医療機関)数、警報・注意報については青森県の感染症発生状況 TOP ページをご覧ください。

は警報、は注意報。「空欄」: 患者報告無し。

Table with columns for region (東青, 中南, 三八, 西北, 上北, 下北), disease name, and counts per point. Includes rows for Influenza, COVID-19, Acute respiratory infection, and various pediatric diseases.

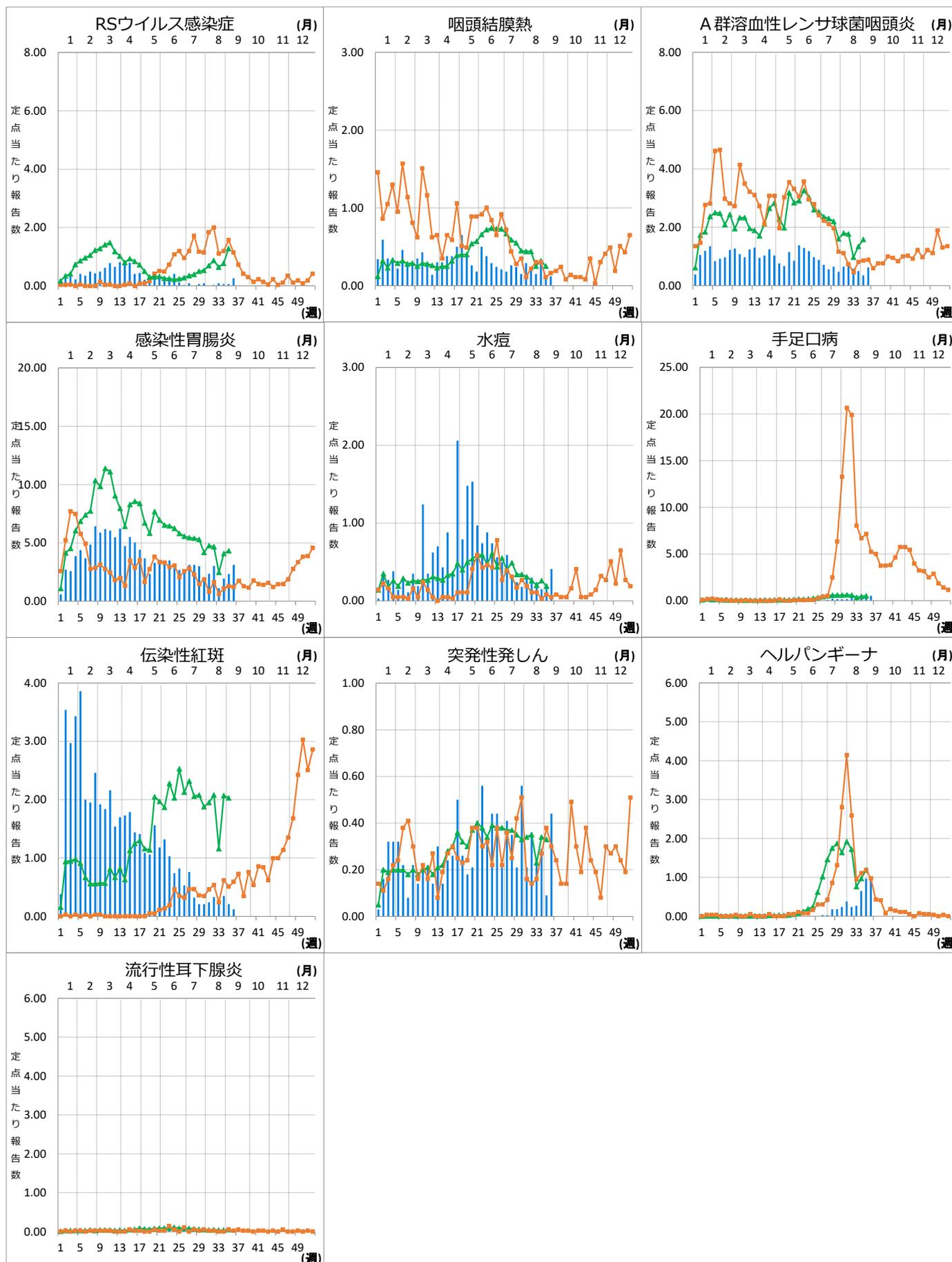
III 定点把握対象疾患週別推移 (急性呼吸器感染症定点) (2025年第36週、ただし全国は前週)

グラフの説明: 青線は2025年青森県、赤線は2024年青森県、緑線は2025年全国



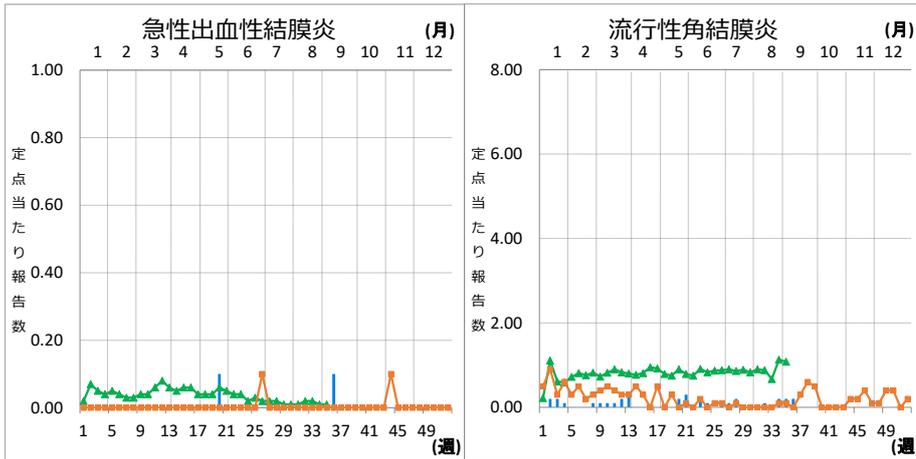
IV 定点把握対象疾患週別推移（小児科定点）（2025年第36週、ただし全国は前週）

グラフの説明 は2025年青森県、 は2024年青森県、 は2025年全国



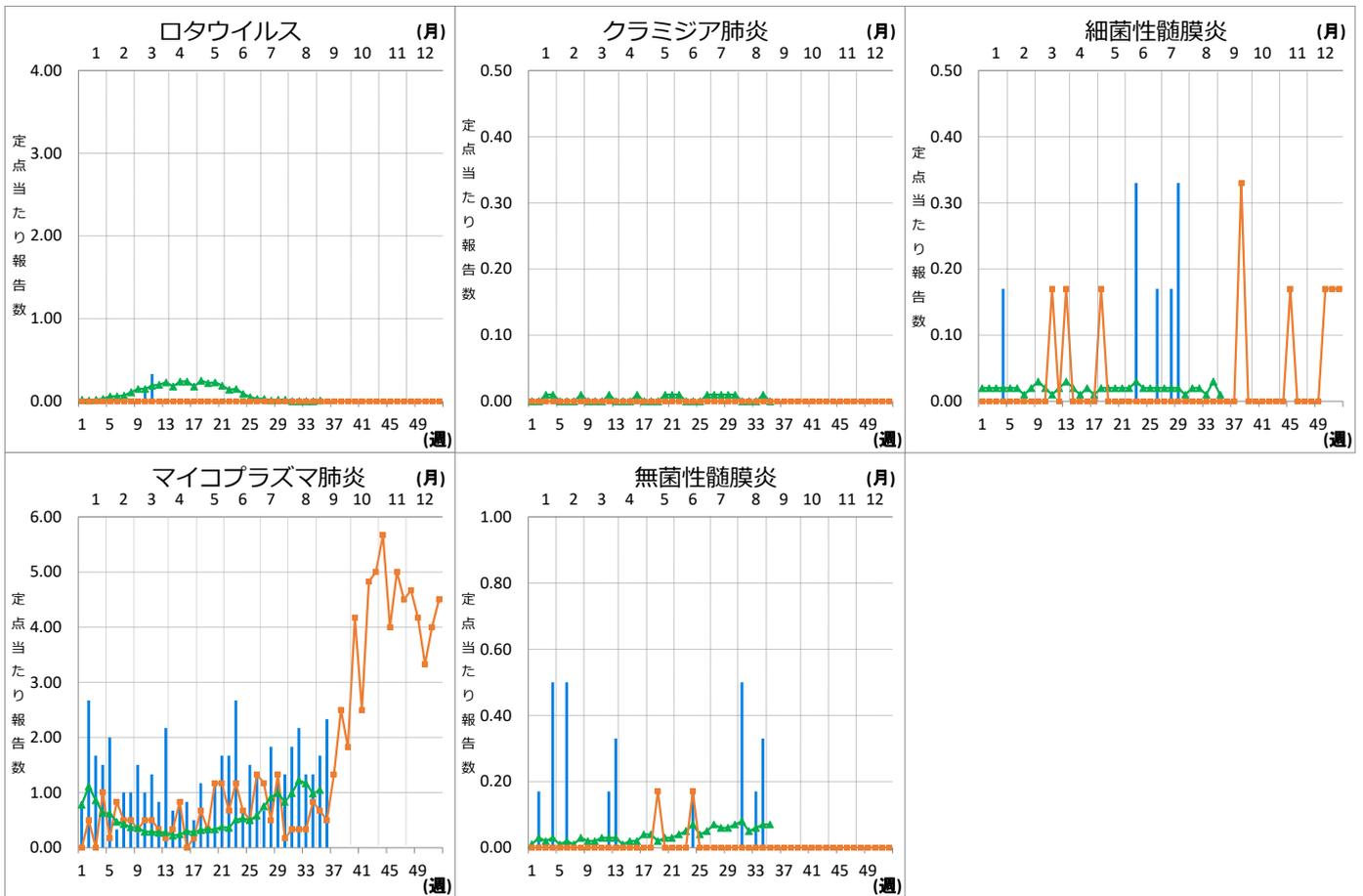
V 定点把握対象疾患週別推移（眼科定点）（2025年第36週、ただし全国は前週）

グラフの説明 は2025年青森県、 は2024年青森県、 は2025年全国



VI 定点把握対象疾患週別推移（基幹定点）（2025年第36週、ただし全国は前週）

グラフの説明 は2025年青森県、 は2024年青森県、 は2025年全国



## Ⅶ 急性呼吸器感染症 (ARI) 病原体検出情報

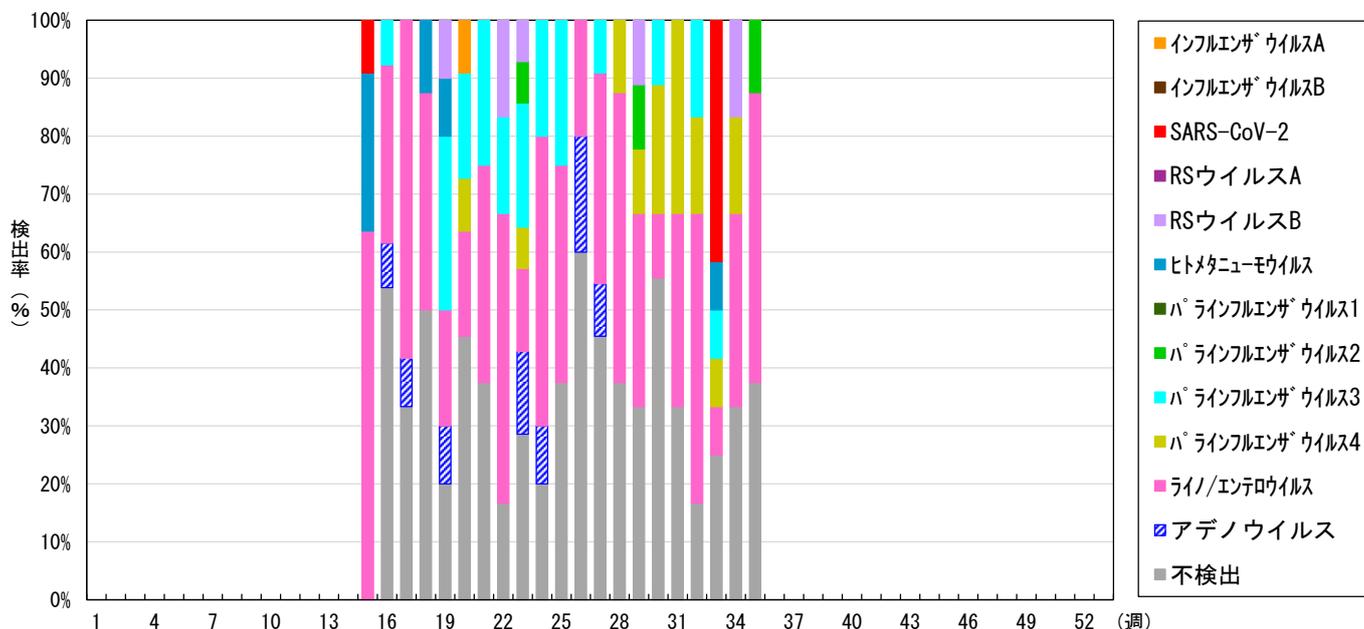
### (1) 急性呼吸器感染症病原体定点からの提出検体数及び結果判明分 (2025 年第 29～36 週)

急性呼吸器感染症	2025年							
	29週	30週	31週	32週	33週	34週	35週	36週
提出検体数	8	9	6	6	12	5	8	7
インフルエンザウイルスA	0	0	0	0	0	0	0	0
インフルエンザウイルスB	0	0	0	0	0	0	0	0
SARS-CoV-2	0	0	0	0	5	0	0	0
RSウイルスA	0	0	0	0	0	0	0	0
RSウイルスB	1	0	0	0	0	1	0	0
ヒトメタニューモウイルス	0	0	0	0	1	0	0	0
パラインフルエンザウイルス1	0	0	0	0	0	0	0	0
パラインフルエンザウイルス2	1	0	0	0	0	0	1	0
パラインフルエンザウイルス3	0	1	0	1	1	0	0	0
パラインフルエンザウイルス4	1	2	2	1	1	1	0	0
ライノ/エンテロウイルス	3	1	2	3	1	2	4	0
アデノウイルス	0	0	0	0	0	0	0	0
不検出	3	5	2	1	3	2	3	0
検査待ち	0	0	0	0	0	0	0	7

※第29週に提出された検体のうち、RSウイルスB及びライノ/エンテロウイルスが重複して検出されたものが1検体ありました。

※第34週に提出された検体のうち、RSウイルスB及びライノ/エンテロウイルスが重複して検出されたものが1検体ありました。

### (2) 検出された病原体の週別推移 (2025 年第 15 週～)



**Ⅷ 全数把握対象疾患発生状況（第 36 週）**

- ・結核(二類感染症) : 中南 1 人、八戸市 2 人 (2025 年計: 77 人)
- ・百日咳(五類感染症) : 青森市 2 人、中南 5 人、八戸市 2 人、下北 1 人 (2025 年計: 693 人)

**Ⅸ 保健所管内別全数把握対象疾患発生状況（2025 年第 33 週～2025 年第 36 週）**

週	東青 (東津軽保健所+ 青森市保健所)	中南 (中南保健所)	三八 (三戸保健所+ 八戸市保健所)	西北 (西北保健所)	上北 (上北保健所)	下北 (下北保健所)
33	百日咳1人	腸管出血性大腸菌感 染症1人 百日咳2人	百日咳4人	百日咳1人	百日咳2人	
34	結核1人 百日咳1人	結核2人 百日咳12人	結核1人 百日咳2人	百日咳1人	百日咳1人	
35	結核1人 百日咳5人	結核1人 腸管出血性大腸菌感 染症1人 つつが虫病1人 百日咳4人	結核1人 腸管出血性大腸菌感 染症2人 百日咳5人	百日咳1人	百日咳1人	結核1人
36	百日咳2人	結核1人 百日咳5人	結核2人 百日咳2人			百日咳1人

第 35 週に青森市保健所管内で百日咳の届出が 3 件、中南保健所管内で百日咳の届出が 1 件、八戸市保健所管内で百日咳の届出が 1 件、上北保健所管内で百日咳の届出が 1 件ありましたので追加しました。

**X 全数把握対象疾患発生状況（全国-青森県）**（注：発生状況は速報値であり、国内で届出のあった疾患のみを掲載しています）

**全国**（2025年第1週～第35週までの累計）

分類	二類	三類	三類	三類	三類	三類	四類	四類	四類	四類
疾病名	結核	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス	E型肝炎	A型肝炎	エキノкокクス症	エムボックス
累積報告数	9398	3	37	2429	20	6	403	89	22	3

分類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類
疾病名	オウム病	回帰熱	コクシジオイデス症	重症熱性血小板減少症候群	ダニ媒介脳炎	チクングニア熱	つつが虫病	デング熱	日本紅斑熱	ブルセラ症
累積報告数	8	5	6	149	2	18	104	107	400	1

分類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	五類	五類	五類	五類
疾病名	ポツリヌス症	マラリア	ライム病	類鼻疽	レジオネラ症	レプトスピラ症	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	急性弛緩性麻痺
累積報告数	1	18	15	1	1538	17	302	162	870	21

分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	急性脳炎	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性髄膜炎菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘（入院例）
累積報告数	366	18	119	988	562	25	492	62	2581	470

分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	梅毒	播種性クリプトコックス症	破傷風	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	百日咳	風しん	麻しん	薬剤耐性アシネトバクター感染症
累積報告数	9342	111	63	62	72448	10	222	5

**青森県**（2025年第1週～第36週までの累計）

分類	二類	三類	四類	四類	四類	四類	五類	五類	五類	五類
疾病名	結核	腸管出血性大腸菌感染症	E型肝炎	つつが虫病	日本紅斑熱	レジオネラ症	アメーバ赤痢	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	急性脳炎	クロイツフェルト・ヤコブ病
累積報告数	77	26	1	15	1	6	1	6	1	3

分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	梅毒	破傷風	百日咳
累積報告数	5	1	3	14	16	1	693

**XI 病原体検出情報** ※（ ）内は、検査材料及び検体採取日報告はありませんでした。

## Ⅷ 社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑い含む）の発生状況

「社会福祉施設等における感染症等発生時に係る報告について」（平成18年2月22日付け厚生労働省健康局長、医薬食品局長、雇用均等・児童家庭局長、社会・援護局長通知）に基づく、青森県内の社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑いを含む）の報告件数及び発症者数は次のとおりです。

2025年第36週

報告週	施設種別	発症者数	管轄保健所
第36週	報告なし		

2025年報告件数及び症者数

施設種別	月(週)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月				10月	11月	12月	計 (施設別)
		1-5週	6-9週	10-13週	14-17週	18-22週	23-26週	27-31週	32-35週	36週	37週	38週	39週	40-44週	45-48週	49-52週	
介護・老人福祉関係施設	件数	1	4	4	4	1	0	0	0	0							14
	発症者数	7	70	69	78	11	0	0	0	0							235
児童・婦人関係施設等	件数	4	10	8	7	1	3	1	1	0							35
	発症者数	74	228	136	128	25	50	22	13	0							676
障がい関係施設	件数	0	2	2	1	1	0	1	0	0							7
	発症者数	0	37	25	10	5	0	11	0	0							88
その他施設	件数	0	0	0	0	0	1	0	0	0							1
	発症者数	0	0	0	0	0	10	0	0	0							10
計(月別)	件数	5	16	14	12	3	4	2	1	0							57
	発症者数	81	335	230	216	41	60	33	13	0							1009

## 感染症の窓

ダニ媒介感染症とは、病原体を保有するダニに刺されることによって起こる感染症のことです。

青森県内で報告が多いダニ媒介感染症は「つつが虫病」ですが、全国的には、日本紅斑熱、重症熱性血小板減少症候群（SFTS）も多く報告されています。

このうち、SFTSの患者は、西日本を中心に報告されていますが、徐々に患者発生が確認された範囲が広がっています。これまでに患者が報告された地域以外でも、SFTSウイルスを保有するマダニが見つかっていますので、現時点で患者の報告がない本県においても注意が必要です。

キャンプ、農作業など、山や草むらで活動する機会が多くなる季節は、ダニの活動も盛んになるため、ダニに刺される危険性が高まります。草むらや藪などに入る場合は、ダニに刺されないよう、長袖・長ズボン、長靴、帽子、手袋を着用し、首にタオルを巻くなど、肌の露出を少なくすることが大切です。また、活動後は入浴し、ダニに刺されていないか確認するとともに、ダニに刺されたときは、無理に引き抜こうとせず、皮膚科など医療機関で処置を受け、数週間程度は体調の変化に注意しましょう。

○詳しい情報はこちらをご覧ください。

☞ [ダニ媒介感染症\(厚生労働省 HP\)](#)



## ダニ媒介感染症

**「ダニ」にご注意ください**

山や草むらでの野外活動の際は、ダニに注意しましょう

春から秋にかけてキャンプ、ハイキング、農作業など、山や草むらで活動する機会が多くなる季節です。  
野山に生息するダニに咬まれることで  
**重症熱性血小板減少症候群(SFTS)、ダニ媒介脳炎、日本紅斑熱、つつが虫病、ライム病**などに感染することがあります。

**ダニに咬まれないためのポイント!**

- **肌の露出を少なくする**  
⇒ 帽子、手袋を着用し、首にタオルを巻く等
- **長袖・長ズボン・登山用スパッツ等を着用する**  
⇒ ジャツの裾はズボンの中に、ズボンの裾は靴下や長靴の中
- **足を完全に覆う靴を履く**  
⇒ サングレ等は避ける
- **明るい色の服を着る**（マダニを目視で確認しやすくするため）  
\* 上着や作業着は家の中に持ち込まないようにしよう  
\* 野外活動後は入浴し、マダニに咬まれていないか確認をしよう  
特に、わきの下、足の付け根、手首、膝の裏、腕の下、顔部（髪の毛の中）などに注意

**ダニに咬まれたときの対処法**

- **無理に引き抜こうとせず、医療機関（皮膚科など）で処置**（マダニの除去、洗浄など）をしてもらいましょう。
- **マダニに咬まれた後、数週間程度は体調の変化に注意**をし、発熱等の症状が認められた場合は**医療機関で診察**を受けて下さい。

【受診時に医師に伝えること】  
① 野外活動の日付け、② 場所、③ 発症前の行動

e3cm e0.5cm e1.5cm  
マダニの大きさ  
マダニの除去  
マダニの除去

ダニ媒介感染症（厚生労働省）  
各地域のダニ媒介感染症の状況については各自治体HPも参考にしてください

平成29年 4月